



おが 男鹿梨のお話（中）



みなさん、こんにちは。今日は、おが男鹿梨のお話です。

おが男鹿梨は、春日井市の交流都市である秋田県おがし男鹿市で収穫される和梨でこうすい ほうすい なんすい幸水、豊水、南水などの品種があります。おがし男鹿市の梨作りは、江戸時代に始まり、今では秋田県のなかで最も多く梨を栽培している地域となりました。

おがし男鹿市があるおが男鹿半島の北東部は、砂地でゆるやかな地形になっているため、水はけが良く、また海が近い影響で昼と夜の寒暖差が大きいので、甘くて実のひきしまったおいしい梨がたくさん採れます。さらに、寒冷地で、害虫が少なく、農薬をあまり使わずに梨を作ることができるので、梨の栽培が盛んになりました。

今日の給食の「おが男鹿梨入りフルーツミックス」には、角切りにした男鹿梨が入っています。おがし男鹿市の気候と土地を生かして大切に育てられた、たっぷりの果汁と強い香りと甘みが特徴の、おが男鹿梨を味わってみましょう。